

暮らしの瓦版

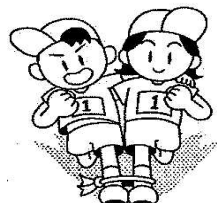
2013年
10月号

(通算第180号)

この瓦版は再生紙使用です

～ 10月 《神無月 かなづき》 ～

- | | |
|------------|------------|
| 1日 法の日・衣替え | 16日 世界食糧デー |
| 2日 豆腐の日 | 17日 貯蓄の日 |
| 4日 都市景観の日 | 21日 国際反戦デー |
| 10日 目の愛護デー | 27日 読書の日 |
| 14日 体育の日 | 31日 ハロウィン |



オリンピックの歴史

二〇二〇年夏のオリンピック開催地が東京に決まりました。今から七年後ですね。一九六四年にも東京でオリンピックが開催されました。当時と今とでは、諸々の状況が異なると思いますが、課題を一つ一つ克服して、日本が世界の人たちに「和」をもたせるといいですね。今回は、オリンピックの歴史について、簡単にまとめました。

【古代オリンピック】

古代ギリシアで行われていた「オリンピック祭典競技」、これがいわゆる古代オリンピックです。古代オリンピックが始まったのは紀元前九世紀頃とされています。現代のオリンピックは世界平和を究極の目的としたスポーツの祭典ですが、古代オリンピックはギリシアを中心としたヘレニズム文化圏の「宗教行事」でした。つまり、全能の神ゼウスをはじめ、多くの神々を崇めるための、神域における体育や芸術の競技祭だったので、レスリングやボクシングに加えて、一人で五種の競技を行うペンタスロンというものも

ありました。当時のギリシアでは、いくつかの町が戦いを繰り返していましたが、オリンピックの祭典時は、戦争を中断してでも参加しなければなりませんでした。これが「聖なる休戦」と言われるものです。しかし、紀元前一四六六年にギリシアはローマ帝国に支配され、紀元三九二年にはキリスト教がローマ帝国の国教となってオリンピック信仰は維持できなくなり、翌三九三年の祭典を最後に古代オリンピックは幕を閉じました。

【近代オリンピック】

一八九二年、フランスのピエール・ド・クーベルタン男爵は、ソルボンヌ講堂で行った「ルネサンス・オリンピック」と題する講演の中で、初めてオリンピック復興の構想を明らかにしました。その理念は世界中の国々の賛同を得て、一八九六年、記念すべき第一回大会がオリンピックの発祥の地であるギリシアのアテネで開催されました。以後パリ、セントルイス、ロンドン……と四年ごと開催されています。また、まもなく冬季オリンピックが夏季オリンピックの間の年に行われるようになりました。

同窓会におけるウソ!!

ある調査によりますと、同窓会において約二パーセントの人が「軽いうそ」をついていることが判明しました。五人に一人というわけですね。ウソの内容は男女差があり、男性に見られる特徴は収入や車に関するもので、女性は職業や仕事の内容に関するものです。

男性の五五パーセントにあたる人が、実際の収入よりも多い額を皆にアピールしているそうです。また、男性の六パーセントの人は「自慢するために同窓会に参加」しているのだそうです。

女性の四五パーセントにあたる人が、実際よりも華やかな職業についている、または内容的にとても素晴らしい仕事をしているとアピールしているのだそうです。

男女共通のウソとしては、二六パーセントの人が、実際の頻度よりも多く旅行に行っていると言っているのだそうです。

嘘をつく理由としては、かつての憧れの人にカッコイイところを見せたい、旧友に自慢したい、ということがあるようです。

なお、四二パーセントの人が、同窓会には行きたくないそうで、理由は「周りの自慢話を聞きたくない」からとか（笑）

五アンペア生活

く節約生活く

電気の使用を極限まで節約した「五アンペア生活」を実践中だという朝日新聞の記者がいます。この夏の酷暑の中でも、電気料金が月額二四一円という、脅威の節電に成功したそうです。

東日本大震災をきっかけに生活を見直して契約アンペアを五アンペアに切り替えたそうです。

五アンペア（約五〇〇ワット）以内で暮らすのは容易ではありません。オープンレンジが一四アンペア、掃除機一三アンペア、ドライヤー二アンペア、エアコン一〇アンペア……といった様に、こうした製品は単体でさえ使うことができないのです。

「冷蔵庫は使わず食料は使い切る分だけ買う」「暑さは扇風機で、寒さは湯たんぼや毛布でしのぐ」「照明は小型の電球やアウトドア用の電灯で手元を照らすのみ」。どうしても必要だというパソコンや携帯電話を除いては、まさにほとんど「電力に頼らない」生活を実現しているのだそうです。

しつけ（躰）について

しつけという漢字は「躰」と書きます。文字通りの「身が美しくなる」ことですね。実際には、身体だけではなく立ち振る舞いや心まで美しくなるものだと思いますが。

しつけとは「教育すること」と言ってもいいでしょうが、教育よりも生活全般に根ざした、さらに根源的な部分を教えていく行為を指します。特に言葉が理解できない幼児の教育に関しては、様々な態度で接することで「やって良いこと」「誉められる」「やってはいけないこと」「罰せられる」の区別をつけさせることもあります。

伝統的なしつけの手法には、体罰を含むこともあるため、「児童虐待ではないか?」という意見もあります。手を出さず口頭で叱るという方法や、きちんとできたら誉めるなどの積極的行動を伸ばす方法もあります。

しつけ行為自体が虐待だという意見がある一方で、人間としての道徳規範を身につけるにはしつけが絶対に必要との意見もあります。社会で生きていく上での常識やマナーの不足が叫ばれる今日、家庭、学校、地域で今一度「しつけ」を見直す時期かもしれませんね。

『ホット炭酸』発売!!

炭酸飲料といえば、今まではもっぱら冷たい飲み物でした。しかし、この秋冬には「ホット炭酸」なる飲み物が二社から発売されるそうです。

日本コカ・コーラが新たに投入するのは、「カナダドライ・ホットジンジャーエール」。世界でも初めてとなる「ホット炭酸」飲料だそうです。既存のホット飲料の主な消費者である三〇〜四〇代をターゲットにしているそうです。

キリンビバレッジも、開発に三年を要したホット炭酸飲料「キリンの泡 ホット芳醇アップル&ホップ」を販売します。こちらは二〇〜三〇代の女性がターゲットだそうです。

炭酸飲料は売り上げが夏場に偏るといった傾向があるため、冬場でも需要を維持したい、というのが狙いのようです。ホット炭酸には「家庭での温めが面倒」という弱点もあります。流通は主にコンビニをメインとし、スタートの時点でフームとなれば、他社も追従する可能性もある、とされています。はたして、どうなるでしょうか。

自然を大切に
ゴミは持ち帰りましょう!!



地名の変遷

〔富岡市上小林〕

当社の所在地である富岡市上小林の地名の変遷について調べてみました。

明治初年時点では、「上小林村」はこの地域一帯の三町五十四村からなる幕府領の村の一つでした。

明治二十二年に、町村制の施行により、南蛇井村、中沢村、蚊沼村、神成村、上小林村が合併して「北甘楽郡吉田村」が誕生しました。

その後、昭和二十五年に北甘楽郡が「甘楽郡」と改称になり、さらに昭和三十年に「富岡市」に編入となり現在に至ります。

『植物』の不思議

最新の研究によると、植物を特定の植物の隣に植えると、単独で植えたときよりも健やかに成長するそうです。西オーストラリア大学の進化生態学者モニカ・ガリアーノ氏は、隣の植物の音を「聞いた」植物は、自ら成長を促進させるという主張をしています。植物が音響信号を利用してコミュニケーションを取っている可能性があるということです。

つまり、植物は化学物質のにおいをかぐ「嗅覚」や、隣人に反射した光を見る「視覚」に加え、周囲の音を聞く「聴覚」も備わっている可能性があるということです。「植物は、私たちの想定よりもずっと複雑な生物体だ」とガリアーノ氏は言います。

トウガラシの隣に、雑草や害虫を防ぐバジルなどの「良き隣人」を植えて実験を行いました。すると、単独で植えたときよりも早く発芽し、健やかに成長することが確認されました。光や化学物質の信号を交換できないように、黒いプラスチックで隣の植物と遮断した場合でも同じ結果を得ました。ただし、植物が音に基づくコミュニケーションを行っているとしたとしても、意図的なものなのか、「言語」のような共通の方式が存在するのか、詳細についてはわかっていないそうです。

料理の「むくせふ」

料理に使う調味料には、基本的な順番があります。いわゆる「さ・し・す・せ・そ」ですね。さ＝砂糖、し＝塩、す＝酢、せ＝醤油、そ＝味噌です。「せ」は「せうゆ」と書いて「しょうゆ」と読み、「そ」は「みそ」の「そ」をとったものです。

甘味は浸透しにくいので、砂糖は早めに入れる方がいいそうです。特に塩や醤油を先に入れてしまうと食材に甘味が付きにくくなるのと。酢は早く入れ過ぎると風味がとんでしまいます。醤油と味噌は特に風味が大事なので、仕上げ時に入れるのが望ましいのだそうです。

ヤギで除草!?

米国シカゴの航空当局は、オヘア国際空港の敷地内で実験的にヤギの群れを放牧して除草する計画を発表しました。専門業者と二年契約を結び、コスト削減と環境負荷の軽減を図ります。

空港内の約五〇ヘクタールの敷地に、二五〇三〇頭のヤギを放し、川岸や斜面など、維持管理費がかさむ土地の草をヤギたちに食べてもらおうという狙いです。ヤギが滑走路に紛れ込まないようにフェンスを設け、監視員もつけます。夜間は近くにある輸送トレーラーに収容することです。

ヘルシージャーナル

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
アトピー性皮膚炎最前線

アトピー性皮膚炎の症状があるマウスに特定の化合物を投与すると、体内で皮膚の保湿効果を高める物質が作り出されて症状が改善することを、京都大学の研究グループが突き止めました。アトピー性皮膚炎は、皮膚の表面で水分を保つ保湿効果がある「フィラグリン」というたんぱく質が少なくなり、皮膚の中に異物が入りやすくなるのが原因の1つと考えられています。

京都大学大学院医学研究科の梶島健治准教授の研究グループは千種類を超える化合物を調べ、この中から「JTC801」という有機化合物が、フィラグリンを増やす性質を持つことを見つけました。

この化合物をアトピー性皮膚炎の症状があるマウスに飲ませたところ、1か月半で症状が大幅に改善したということです。今後に期待しましょう!!

大工さん大募集中!!

～詳しくは0274-67-2721まで～

発行 リフォーム・増築・改築・新築は 地元

株式会社大五建設

本社 TEL 0274-67-2721
富岡市上小林216-2

四季の住まい株式会社

本社 TEL 027-328-6544
高崎市中豊岡町824-1

ブログ 【<http://daigo.kazelog.jp/>】
ホームページ 【<http://www.daigo-kensetu.co.jp/>】
Eメール 【daigo-tm@daigo-shiki.jp】

ブログ 【<http://shikinosumai-blog.net/>】
ホームページ 【<http://www.shikinosumai.net/>】
Eメール 【shiki@daigo-shiki.jp】